



特集

世界緑内障週間に合わせライトアップされる中区・栄のオアシス21 (3/12~14医学研究科視覚科学分野が実施)
※画像は昨年の様子

特集① 日本経済新聞社「大学の地域貢献度に関する全国調査2019」 全国第5位、東海地域第1位!

特集② リクルート進学総研「進学ブランド力調査2019」で高校生からの評価が上昇!

特集③ 名市大リンクトポス 特集④ 「瑞躍賞」表彰式

- 01 特集
- 02 TOPICS
- 06 国際交流
- 07 学生の活躍
- 09 受賞関連／寄附顕彰
- 11 イベントカレンダー／教員著書・発行物紹介

2020年は開学70周年!

DONATION



開学100周年を見据え、学生会館の
リニューアルを始めとした各キャンパスの
施設整備などの記念事業を行うために、
皆さまからの寄附金を募集しております。

問合せ：事務局総務課
tel.052-853-8005

01

日本経済新聞社

「大学の地域貢献度に関する全国調査2019」で 全国第5位、東海地域第1位!

2019年10月に日本経済新聞社が発表した、全国755の国公立大学を対象とする「大学の地域貢献度に関する全国調査2019」の総合ランキングにおいて、本学は全国第5位、東海地域第1位(3回連続)、公立大学第1位となりました。

なお、この調査は、大学が教育や研究などを通じて地域社会にどのような貢献をしているのかを探るものです。本学の総合ランキングは前回調査(全国15位)より上昇しており、教職員・学生による地域貢献の組織的な取り組みが評価されています。

02

リクルート進学総研

「進学ブランド力調査2019」で高校生からの評価が上昇!

2019年7月にリクルート進学総研が公表した「進学ブランド力調査2019」で、本学の「志願したい」「教育方針が魅力的」「就職に有利」「親しみやすさ」などの面で、高校生の評価が上昇しています。大学の知名度向上のため、メディアへの情報提供や大学ウェブサイト、SNSでの情報発信に努めてまいります。

03

学生の自主的な社会貢献活動を支援

「名市大リンクトポス」開催



グループワークの様子

2019年12月12日(木)、課外活動などを通じて社会貢献活動をしている学生が集まり、活動報告や意見交換を行う「名市大リンクトポス」を開催しました。学内外で盛んに自主的な社会貢献活動が行われる中、今年は5つの個人、団体が活動内容や成果を発表しました。後半は、防災をテーマにグループワークに取り組みました。今後の活動に生かされることが期待されます。

<発表内容>

- 全国公立大学学生大会参加報告
- 映像によるまちづくり
- パロルワークショップの開催
- 中水野の今を未来へ届ける家具の製作
- 過疎地における買い物弱者への支援取り組みを学ぶ(包括連携協定 高知県立大学)

04

「瑞躍賞」の表彰式が行われました

課外活動や社会貢献活動において、顕著な功績のあった学生や団体に、「瑞躍賞」を表彰しました。

<被表彰者>

- 課外活動部門: 医薬看卓球部、医療系バレーボール部、ゴルフ部、水泳部
- 社会貢献活動部門: 救急救命サークルMeLSC、
障害者問題研究会、ドクターエイド、
足立 洋人さん(芸術工学部3年)、
穴井 洋子さん(芸術工学研究科博士前期課程1年)、
林 映見さん(芸術工学研究科博士前期課程2年)



名市大リンクトポス・瑞躍賞表彰式の参加者で記念撮影

DATE 2019.12.5-7

開学70周年記念イベント

「NCUアジア拠点校シンポジウム2019」を開催

2019年12月5日(木)から7日(土)の3日間、2020年の開学70周年を記念し、イベント「NCUアジア拠点校シンポジウム2019」を開催しました。本学の国際交流協定校の中でも特に結び付きの強い海外拠点校4校(トルコ:ハジェテペ大学、韓国:ハルリム大学、フィリピン:サント・トマス大学、タイ:プリンスオブソクラー大学)から研究者をお招きし、国際連合が掲げる持続可能な開発目標(SDGs)をテーマに講演や意見交換などが行われ、450人を超える来場がありました。また、全て英語で行われた2日目のポスターセッションにも会場が満室になるほどの学生が来場し、熱心に耳を傾けていました。



講演セッションの様子



ポスターセッションの様子

DATE 2019.12.7

「NCUサステナビリティ・シンポジウム2019」を開催



第一部での発表



第二部での協働ワークショップ

2019年12月7日(土)、「SDGsを通してみる名古屋:「気候変動」×「生物多様性」への私たちの取り組み」を開催しました。本学より人文社会学部心理教育学科曾我ゼミ・現代社会学科伊藤ゼミ、高等教育院英語クラス(Action in English: Raise Health/ Environmental Awareness)2チーム、看護学部地域保健看護学ゼミ(尾崎准教授)が参加しました。名古屋市立北高等学校、名東高等学校、若宮商業高等学校および特定非営利活動法人こどもNPOから小学生から高校生が参加しました。それぞれの学習や研究の成果報告をした後、10チームに分かれて持続可能な都市にするための提言を考えるワークショップを行いました。

DATE 2019.10.29

「ライフイノベーション新技術説明会」を開催

2019年10月29日(火)、JST東京本部で「ライフイノベーション新技術説明会」を開催しました。本学の他、大阪市立大学、岐阜薬科大学、静岡県立大学、横浜市立大学の4校が参加し、「創業」「医療・福祉」「アグリ・バイオ」に関連した計10件の新技術を発表しました。本学からは、医学研究科神経内科学分野・松川則之教授と、薬学研究科神経薬理学分野・大澤匡弘准教授の教員2名が発表を行いました。発表後には、企業と個別に実用化や共同研究に向けた意見交換を行いました。当日は約100名の企業関係者が来場し、活気あるイベントとなりました。



研究発表の様子

DATE 2020.1.21

名古屋市立大学×中京大学 合同シンポジウムを開催



パネルディスカッションの様子

2020年1月21日(火)、両大学の連携の一環として、2030年までの国際目標である「持続可能な開発目標(SDGs)」をテーマに、中京大学を会場としてシンポジウムを開催し、421人が参加しました。

はじめに、SDGs市民社会ネットワークの新田英理子理事・事務局長によるSDGs達成に向けた大学の役割についての基調講演があり、続いて豊田市の取り組み紹介がなされました。その後に行われたパネルディスカッションでは本学の伊藤恭彦副学長も加わり、両大学の取り組み紹介に続き、SDGsの推進と大学の役割について活発な意見交換が行われました。SDGsは社会的に関心の高いテーマであり、盛況のうちに幕を閉じました。

DATE 2019.12.13



道川誠教授による口頭発表

最先端の技術シーズを発信!

「中部地区医療・バイオ系シーズ発表会」を開催

2019年12月13日(金)、中部地区を中心に17の大学・技術移転機関等が集結して、「中部地区医療・バイオ系シーズ発表会」を開催しました。本学からは、医学研究科病態生化学分野・道川誠教授が脳のコレステロールレベルと血液中のエクソソーム分泌との関連について、研究成果のポスター展示および口頭発表を行いました。当日は医療系を中心に多数の企業関係者が来場され、本学の研究成果をPRすることができました。

DATE 2019.10.29

「大学における学術研究動向の現状と展望」講演会を開催

2019年10月29日(火)、本学教職員を対象に、学術出版の世界的な流れや、日本の研究力の低下とその対応策について理解を深めるため、講演会を行いました。はじめに筑波大学・逸村裕教授に「オープンアクセス:学術情報流通の改革-OA2020へ-」と題し、オープンアクセスによる学術出版の世界的な動きについて講演いただきました。続いて、鈴鹿医療科学大学・豊田長康学長に「日本の研究力低下への警告とさらなる低下を防ぐための方策」と題し、日本の研究力低下の原因や再生に向けての方策等について講演いただきました。当日は106名が参加し、盛況のうちに幕を閉じました。



講演会の様子

DATE 2019.11.4

総合生命理学部

サイエンスパートナーシップイベント「生命科学と化学の融合」を開催



講演会の実験の様子



講演会の様子

2019年11月4日(月・休)、中高生を対象に市科学館で講演会を開催しました。本学システム自然科学研究科・片山詔久准教授がクモ糸の化学について、薬学研究科・寺坂和祥講師が植物の中の化学について、科学館の山田厚輔学芸員と柏木晴香学芸員がバイオメティクスについて熱弁しました。学芸員の講演では初めて実験を取り入れ、参加者は熱心に取り組んでいました。講演後には講師のほかにも、システム自然科学研究科・湯川泰研究科長、高石鉄雄教授、中務邦雄准教授と医学研究科・赤津裕康教授が加わり、参加者との交流が行われました。

DATE 2019.11.28

大学院 経済学研究科

第24回 公開シンポジウムを開催

2019年11月28日(木)、「自然災害の発生が金融市場・金融機関に与える影響」をテーマにシンポジウムを開催しました。日本銀行の若田部昌澄副総裁をはじめとする有識者による報告では、さまざまな分析結果や東日本大震災での実例を踏まえながら、災害時における金融機関の対応などについて説明がありました。また、パネルディスカッションでは、今後の金融経済教育の観点からの意見交換も行われました。会場からの質問に対しても各パネリストから丁寧な回答がなされ、約100名の参加者は熱心に耳を傾けていました。



有識者によるパネルディスカッションの様子

DATE 2019.12.26



第12回 教育改革フォーラムの様子

教育改革フォーラムを開催しました

2019年12月26日(木)、「名市大生が修得すべき能力・資質とカリキュラム」をテーマに教育改革フォーラムを開催し、高石高等教育院長が講演を行いました。大学が置かれている現状、国から求められる大学の役割と、大学と大学教員に求められていることについて具体的な説明があった上で、教育改革の一環として本学が2019年9月に制定・公表した「教学マネジメント基本方針」に基づく取り組みの現在の進捗状況および今後の課題について報告を行いました。本学では今後も教育改革・改善のための活動を続けていきます。

DATE 2019.10.21

ICT研修会を開催しました

2019年10月21日(月)、教職員・TAを対象にICT研修会を開催しました。整備を進めてきた無線LAN(ncuwifi)を授業で活用することを目的に、システム自然科学研究科・渡邊裕司准教授、宮原一弘助教を講師として今年初めて開催し、当日は教員のほか、TAを務めている大学院生や事務職員の参加がありました。研修会では、学生の理解度の確認に利用できるWebサービスの紹介のほか、学内のメールシステムに使用されている「Office365」を出欠確認やレポート回収など授業支援システムとして活用する方法を学びました。これらを初めて知る参加者もあり、授業で活用するための第一歩となることが期待されます。



研修会の様子



アトリウムでのミニコンサートの様子

医学部附属病院

音楽のある療養環境づくり～名古屋音楽大学との連携～

附属病院では、患者さんが明るい気持ちになれる療養環境を提供するため、11月から定期的にミニコンサートを開催しています。

名古屋音楽大学と連携に関する協定を締結し、音楽療法サークルの学生によるピアノ、フルート、トロンボーンなどによるアンサンブルを、外来診療棟のアトリウムで聴くことができます。また、病棟・中央診療棟の小児病棟では、入院されている患者さんを対象とした、手遊びなどを交えた参加型の演奏をするなど、ご家族ともに好評をいただいています。

「大学スマホ・サイト ユーザビリティ調査2019-2020」で、 本学が全国第1位に輝きました！

日経BPコンサルティングによるこの調査は、大学ウェブサイトの使いやすさなどを評価したものです。本学はおかげさまで、全国第1位の評価をいただきました。今後も、どなたでも使いやすく、わかりやすいウェブサイトを目指していきます。

■詳しくは本学ウェブサイトから以下のページをご覧ください。 <https://www.nagoya-cu.ac.jp/about/press/news/news/016505.html>

DATE 2020.1.12

人文社会学部 高大連携事業 高校生&伊藤ゼミ学生合同チーム

「使い捨てプラスチックの削減に関する取り組み提案募集」優秀賞の受賞

「NCUグレイド・スキップ・チャレンジ」に参加した名古屋市立高校の生徒と人文社会学部の伊藤ゼミの学生の合同チームにより、名古屋市主催の「使い捨てプラスチックの削減に関する取り組み提案募集」に「ペットボトルの回収とデポジット制度」を提案し、「ライフスタイル部門」において優秀賞を受賞しました。2020年1月12日(日)に行われた表彰式では、伊藤ゼミ3年の長谷川和美さんが登壇し、「高校生と大学生が協力した提案、来年以降も高校生と共に考えていきたい」と受賞の感想を述べました。

また、同席した高校生は「ニュースや話を聞くだけではわからないことを考えることができ、良い機会となった」と活動を振り返りました。



表彰式の様子



表彰式に同席した高校生とゼミ生

進化型実務家教員養成プログラムが文部科学省補助事業に選定されました

文部科学省が今年度から開始した「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」において、本学から申請した、PBL(課題解決型学習)とIPE(多職種連携教育)を重視して実務家教員の養成に取り組む「進化型実務家教員養成プログラム」が採択されました。このプログラムでは、岐阜薬科大学、高知県立大学、中京大学および連携企業との協力のもと、企業実務等の最先端を学生にわかりやすく教えることができる人材、経営実務・減災医療などの実務の最新動向・技術などを職種・組織横断的に指導できるリーダーシップを備えた人材を養成します。

進化型実務家教員養成プログラム
イメージ図



大学院 看護学研究科 **なごや看護生涯学習セミナーを開催**

10～12月にかけて、看護保健医療福祉職者を対象に、看護研究セミナー3件、看護実践セミナー4件を実施しました。これから研究を始める方、現場で役立つスキルを身につけたい方々が参加されました。セミナー終了後のアンケートには、「テキストを見ていても頭に入ってこなかったことがどんどん理解できて、とても勉強になった」「具体例やグループワークなどがあり、イメージしやすかった」などの声を数多く聞くことができ、受講者にとって充実した学びの場となりました。



セミナーの様子

DATE 2019.11.23



シンポジウムの様子

名古屋市立大学開学70周年記念 **大学院 芸術工学研究科**

環境デザイン研究所主催シンポジウムを開催

2019年11月23日(土)、芸術工学研究科環境デザイン研究所主催「コンピューターを用いた新たなデザイン手法の可能性とその教育について考える～デジタル技術による『拡張創造』」が開催されました。IT技術を使った設計・製作手法であるデジタル・デザインやデジタル・アプリケーションをどのように学び、使っていくのかを、本学でデジタルデザインを教える東福大輔氏と先駆的な教育に取り組む広島工業大学・杉田宗准教授、京都工芸繊維大学KYOTO Design Lab Design Factory・井上智博氏を招き、最新動向とそれぞれの教育の様子を講演いただきました。62名の参加者は学生、若手技術者や建築士、教育関係者など多種多様で、活発な意見交換も行われる熱気あふれるシンポジウムとなりました。

DATE 2019.10.8-11

医学部 **医学教育分野別評価を受審**



検討会議の様子



実習見学の様子

医学部では、2019年10月8日(火)から11日(金)に、「医学教育分野別評価」を受審しました。本評価は、外部の専門家から国際的基準に合致した医学教育を実践しているかの審査を受けるものです。外部の客観的評価を通じて教育の質を保證することを目的に全国の医学部が審査を受けており、名古屋市立大学としては今回が初めての受審となります。2年前から本学医学教育の現状と今後についての自己点検評価を実施し、今回7名の外部評価員により、検討会議、講義・実習の見学、教員・学生・研修医の面談等を実施しました。

来年度に公表される評価結果をもとに、世界で活躍する医師の育成に向けて、医学教育の継続的な改善・改革を行っていきます。

国際交流

経済学部

ネパールで環境保護ボランティア活動に参加しました

経済学部3年の本多晴登さんが、2019年9月にネパール南部ダヌシャダム保護森林を訪れ、環境保護NGO「Mithila Wildlife Trust」のもとで2週間の森林保護ボランティア活動を行いました。年間3百万本もの植林を行っているこのNGOでは、森林整備や野生動物保護、現地コミュニティにおける環境教育にも力を入れています。本多さんは、現地スタッフとともに植林用植物の手入れや蛇の保護活動を手伝うとともに、森林の持続的利用に関する意識調査を現地の小学校教員向けに行いました。環境保護現場での活動体験を通し、自然を守り共存することの難しさと重要性を学びました。



仲間と共に森林保全活動をする本多さん(右)

大学院 看護学研究科

国際看護ヘルスケア学会で招へいを受け講演しました

2019年11月15日(金)に、韓国のデグカトリック大学看護学部主催の国際看護ヘルスケア学会から、看護学研究科国際保健看護学領域・金子典准教授が招へいを受け、講演を行いました。看護学部生、大学院生、デグカトリック大学附属病院の看護師を対象に、超高齢化社会を迎えた日本におけるヘルスケアシステムの改革について報告しました。



講演した金子准教授

芸術工学部

タイから優秀な学生を招へい!

アジア地域と日本の科学技術発展のため、海外の優秀な人材を育成することを目的とした「さくらサイエンスプラン」により、2019年12月1日(日)から7日間、タイ国立プリンスオブソクラー大学・同付属高校の学生・教員11名を招へいしました。IoTのハッカソン形式のワークショップを芸術工学部の学生と一緒に行いました。また、NCUアジア拠点校シンポジウム2019にも参加し、SDGsについて理解を深めていました。



モーションキャプチャ体験

未来創成 ～本学と韓国ハルリム大学との学術交流～

2006年に始まった本学と韓国ハルリム大学との学術交流は、本学が掲げる未来プランのうち「国際化」の先がけの一つといえます。2019年11月28日(木)、ハルリム大学附属病院にて開催された第4回合同学術シンポジウムに、医、薬、看、システム自然の各研究科から9名の教員が参加。本学とハルリム大学からそれぞれ8名の演者が最新の研究成果を発表し活発な討論、意見交換の場になりました。ハルリム大学のコン理事長、キム前副学長、スウ医学部長、コン理事らと共同研究推進や学生交流などについて積極的な話し合いが行われました。



基礎から臨床まで幅広い分野の研究発表でした。

タイ・コンケン大学医学部と 学部間交流協定締結

2019年12月18日(水)、名古屋市立大学医学部とタイ・コンケン大学医学部との学部間交流協定をコンケン大学において締結しました。コンケン大学はタイにおける最も大きな大学の1つです。協定締結のほか、本学が獲得した国費留学生優先配置プログラムの説明と、プログラムへの参加要請を行いました。また、学部学生交流や研究者交流のほか、近い将来において大学間交流締結への拡大を目指すことで一致しました。



締結式にて本学とコンケン大学関係者での記念撮影



学生の活躍

祝



表彰式後の記念撮影

人文社会学部

全日本学生将棋女流名人戦で優勝!



2019年12月24(火)・25日(水)、第40回全日本学生将棋女流名人戦で人文社会学部1年・木村野乃花さんが優勝。本戦トーナメントの決勝では、昨年の優勝者と対局。しかも今予選リーグでは敗れていたため、雪辱を果たしての勝利。「対戦相手は全員年上の方ということもあり、まさか優勝できるとは思っておらず、驚いています。」と喜びを語る木村さん。将棋を本格的に始めたのは、小学2年生の時、祖父に教わったことがきっかけ。普段は、月2回の研修会参加や、平日のネット対局などで練習を重ねているそうです。「今後の大会でも結果が残せるよう、学業との両立も図りながら頑張っていきたい。」と今後の意気込みも話してくれました。



芸術工学部

知多市制50周年 記念ロゴマーク 芸術工学部生のデザインに決定!

2019年10月26日(土)、愛知県知多市が来年に迎える市制施行50周年の記念ロゴマークに、芸術工学部産業イノベーションデザイン学科3年の足立洋人さんによるデザインが選ばれました。愛知県内の大学生を対象として公募が行われ、最終審査に進んだ4作品から、知多市内の小中学生による投票により決定しました。知多市の佐布里地区に多く植えられている梅をモチーフとしてこれからだんだんと熟していく知多市の明るい未来をイメージし、「緑と花に包まれた美しい街」をデザインとして表現しました。



知多市制施行50周年

祝



経済学部

経済学部生が“名古屋らしさ”をテーマにしたパンを考案しました

経済学部で経営学やマーケティングを学んでいる山本奈央ゼミと下野由貴ゼミでは、株式会社ヴィ・ド・フランスと連携し、商品企画プロジェクトを実施しています。2018年10月にヴィ・ド・フランス上前津店にて、学生のアイデアを基に4種類のパンが発売されましたが、それに続く第2弾として、2020年1月に3種類のパンが発売されました。今回は、“名古屋らしさ”をテーマとして、台湾まぜパン、あんドラケーキ、キウイサンドの3種類を考案しました。そのうち2種類は、上前津店だけでなく、中京エリアの複数店舗でも発売されました。



学生が開発に携わったパン

人文社会学部

上越市牧区で稲刈り体験に参加しました!

人文社会学部三浦ゼミは2016年度から、新潟県上越市牧区棚広地区と交流を重ね、これまで住民の生活調査や集落計画づくりの支援に取り組んできました。2019年9月に棚広地区で開催された稲刈り体験ツアーに参加しました。ツアー当日は3年生7人が参加し、秋空の下、地区住民から手ほどきを受けながら、2,000㎡ほどの棚田の稲を刈り取りました。その後も、民家の軒先に背丈よりも高いはさに稲穂をかけていく「はさ掛け」に挑戦しました。初めての農作業について、学生からは「またぜひ参加したい」という声が聞かれました。



はさ掛けに挑戦する学生

芸術工学部

芸術工学部3年生の作品が「ローマインディペンデント映画祭」入選!

2020年1月5日(日)にイタリアローマで行われた「ローマインディペンデント映画祭」で、芸術工学実習4(映像)で制作した作品が入選しました。作品タイトルは「Dying message」。映画でよくある「ありえない場面/映画のお約束」を描写し、それを本学の医学研究科・岡田淳志准教授に監修/出演いただき「本来はどんな風であるべきか」をコミカルに描いたパロディ映像作品です。監督は芸術工学部3年生の鈴木雄大、坂本希望、古田七海さんです。



映画「Dying message」より

人文社会学部

瑞穂区内の高校で 選挙出前トークを 開催しました!

2017年度から、瑞穂区役所と人文社会学部、三浦哲司准教授のゼミが連携し、瑞穂区内の高校での「選挙出前トーク」を行っています。
10月31日(木)、名古屋女子大学高校で、ゼミ学生3名が候補者役に扮して、高校生の前で模擬演説を行いました。その後の模擬投票では、高校生は悩みながらも一票を投じていました。また、11月21日(木)には名古屋大谷高校で、ゼミ学生が高校生とクイズ形式で対話をしながら、選挙の重要性を伝えました。途中で名古屋市の選挙啓発のマスコット「クリタン」も登場し、会場は大いに盛り上がりました。



模擬演説するゼミ学生

人文社会学部

中区まちづくりフェスタ2019に 人文社会学部生が 多文化共生のブース出展

2019年9月28日(土)、「中区安心・安全・快適なまちづくりフェスタ2019」において、人文社会学部国際文化学科山本ゼミの学生13人が「TABUNKA~中区で世界を楽しもう~」というテーマでブース出展を行いました。市民や子どもたちに、日本人と外国人との共生の大切さについて楽しみながら学んでもらうために、学生たちが名古屋の外国人住民に関するクイズや「やさしい日本語」で伝える防災用語、17のSDGsの目標などのゲームを考案し、当日は400名以上の来場者を迎えました。



中区まちづくりフェスタ2019の多文化共生ブース

学生の受賞

芸術工学部 大学院 芸術工学研究科

日本造園学会中部支部大会

最優秀学生発表賞 優秀学生発表賞

<受賞者>
芸術工学研究科
博士前期課程2年
太田 将司 さん

<受賞者>
芸術工学部4年
四方 勘太 さん



(写真左から)高木さん、太田さん、四方さん

学生デザインワークショップ サマースタジオ2019

<受賞者>
芸術工学部4年 四方 勘太 さん
芸術工学部3年 生熊 洋介 さん
芸術工学部3年 徳永 啓佑 さん
芸術工学研究科 博士前期課程2年 高木 里美 さん

薬学部

第5回 次世代を担う若手のための レギュラトリーサイエンスフォーラム 優秀発表賞

<受賞者>
医薬品安全性評価学分野
薬学科6年
宮路 康平 さん



大学院 薬学研究科

第18回 次世代を担う 若手ファーマ・バイオフィォーラム2019 大学院生優秀発表者賞

<受賞者>
薬学研究科
病態生化学分野
博士前期課程2年
石井 圭介 さん



薬学部 大学院 薬学研究科

第26回 学術大会日本時間生物学会 優秀ポスター賞

<受賞者>写真左より
薬学研究科 生命分子構造学分野
博士後期課程2年
柚木 康弘 さん
薬学部 神経薬理学分野
生命薬科学科4年
羽鳥 聖七 さん



大学院 薬学研究科

第29回 日本医療薬学会年会 優秀発表賞

<受賞者>
薬学研究科
病院薬剤学分野
博士課程2年
富田 なつみ さん



大学院 薬学研究科

The 10th meeting of Asian Cellular Therapy Organization Best Abstract Award

<受賞者>
薬学研究科 臨床薬学分野
博士前期課程2年
外山 智視 さん



人文社会学部

東海学生アワード 最優秀賞&会場共感賞

<受賞者>写真右
人文社会学部 現代社会学科2年
ダルモ・マイケル さん



令和元年度 永年勤続職員表彰

※五十音順に掲載

永く、本学で勤め、支え続けていただいた皆様へ、心より深く感謝いたします。今後も健康にご留意いただき、ますますのご活躍をお祈りいたします。

■30年勤続表彰



加藤 敦子
看護師(病)
これからも健康に注意しながら頑張ります。



高石 鉄雄
教授(シ)
引き続き、名市大のために精一杯頑張ります。



滝塚 厚夫
係長(事)
病院改築が縁で30年間、感謝あるのみです。



別所 良美
教授(人)
着任時からの本学の発展に感慨ひとしおです。



松本 千佳子
副看護部長(病)
長年のご支援に、心から感謝申し上げます。



矢野 均
教授(人)
あと数年、よろしくお願ひ申し上げます。



吉根 佐和子
司書(事)
感謝を忘れず、今後も日々精進いたします。



渡辺 由美
看護師(病)
表彰ありがとうございます。今後も精進します。

■20年勤続表彰

飯田 征昌 主査(病)
尾崎 伊都子 准教授(看)
櫻井 宣彦 准教授(シ)
沢田 磨乃 看護師(病)

田上 由紀子 看護師(病)
中村 奈生子 看護師(病)
橋谷 光 教授(医)
藤澤 瞳 看護師(病)

宮原 一弘 助教(シ)
村田 有希 看護師(病)
山本 保美 看護師(病)
渡辺 美奈 看護師長(病)

※(事):事務局・学部事務室 (医):医学研究科 (病):医学部附属病院 (薬):薬学研究科 (経):経済学研究科
(人):人間文化研究科 (芸):芸術工学研究科 (看):看護学研究科 (シ):システム自然科学研究科



国際共著論文プラス1運動表彰 / 高インパクト論文表彰

研究力の強化及び国際的な評価の上昇に関する機運を高め、世界大学ランキングの上昇を目指すことを目的に表彰するものです。

■国際共著論文プラス1運動表彰

国際共著論文数で特に顕著な業績を収めた研究者を表彰。

医学研究科 教授 森田 明理
医学研究科 講師 辻田 麻紀
薬学研究科 講師 矢木 宏和
看護学研究科 教授 樋口 倫代
システム自然科学研究科 教授 青柳 忍

■高インパクト論文表彰

特に影響力の高い論文を著した研究者を表彰。

医学研究科(筆頭) 講師 井上 貴子
(責任) 教授 田中 靖人
医学研究科(筆頭) 助教 高瀬 範明
(責任) 講師 野崎 実穂
薬学研究科(筆頭) 講師 田上 辰秋
(責任) 教授 尾関 哲也

経済学研究科(筆頭・責任) 准教授 坂和 秀晃
芸術工学研究科(筆頭・責任) 教授 松本 貴裕
看護学研究科(筆頭・責任) 助教 細川 陸也
システム自然科学研究科(責任) 教授 笹森 貴裕



令和元年度 学長表彰

本学で教育、研究、社会貢献、管理・運営、診療等で顕著な業績を挙げ、本学の発展に尽くされた方を表彰するものです。

医学研究科 助教 金光 禎寛
人間文化研究科 准教授 谷口 由希子
医学研究科 助教 田口 和己
芸術工学研究科 准教授 埜 大
薬学研究科 教授 中川 秀彦
看護学研究科 教授 香月 富士日
経済学研究科 教授 山本 陽子
システム自然科学研究科 准教授 三浦 均



第7回 男女共同参画奨励賞

男女共同参画社会の実現に関連する優れた研究・活動等を行っている本学の教職員および学生を表彰し、事例報告会を開催しました。

【活動/学生部門】
人文社会学部「社会問題論2」履修生グループ
大見 真子、張 啓凡、徳武 尚人、
宮川 莉緒、中村 春奈

【研究/教職員部門】
高度医療教育研究センター
救急科講師
三浦 敏晴



【研究/学生部門】
経済学部 白杵ゼミ
坪井 萌々花、足立 愛絵、
栗山 琴羽、土屋 瀬里加

馬場駿吉名誉教授が第51回 東海テレビ文化賞を受賞しました

長年の芸術評論活動および元名古屋ポストン美術館館長としての功績等により、東海テレビ文化賞を受賞されました。受賞を心からお祝い申し上げますとともに、今後の一層のご活躍をお祈りいたします。



名古屋市立大学名誉教授
元医学部附属病院長
馬場 駿吉

PRIZE 受賞

※受賞期間：2019年10月1日～2020年1月31日 ※研究科・学部ごと、受賞日順に掲載

■医学研究科

第64回 公益社団法人 日本口腔外科学会総会 学術大会優秀口演発表賞



口腔外科学分野
研究員
倉田 雅志

2019年度(令和元年度) 日本肥満学会学術奨励賞



消化器・代謝内科学分野
准教授
田中 智洋

■医学部附属病院

令和元年度 医学教育等関係業務功労者 文部科学大臣表彰



看護部
看護主任
後藤 由美

令和元年度 医学教育等関係業務功労者 文部科学大臣表彰



放射線技術科
放射線技師
川村 富士夫

第32回 日本外科感染症学会総会学術集会 ポスターAWARD〔メディカルスタッフ部門〕



薬剤部
薬剤師
朝岡 みなみ

■看護学研究科

令和元年度 日本健康学会 優秀論文賞



がん看護・慢性看護学
教授
安東 由佳子

ASIA AND OCEANIA FEDERATION OF OBSTETRICS AND GYNECOLOGY:2019 AFOG YS Chang Award



性生殖看護学・助産学
講師
杉浦 和子

■薬学研究科 ■医学研究科

令和元年度 愛知県薬事功労者 知事表彰



病院薬剤学分野・臨床薬剤学分野
教授
木村 和哲

開学70周年記念事業へのご寄附ありがとうございました

■個人

- 1,000,000円以上 加固 俊男 様、長屋 祥子 様
- 500,000円以上 村松 敬介 様
- 100,000円以上 石原 利克 様、石原 英子 様、伊藤 晴夫 様、伊藤 弘美 様、園藤 吟史 様、岡田 源義 様、木下 實 様、高石 鉄雄 様、水野 裕支 様、物江 孝司 様、大無 勝則 様、小川 陽子 様、加藤 美樹雄 様、黒木 秀明 様、澤田 康夫 様、林 良成 様、武藤 大 様
- 50,000円以上 伊藤 善広 様、岩田 英之 様、大島 創 様、垣内 かつ子 様、川崎 春男 様、坂本 文子 様、坂本 美優 様、豊田 百合子 様、長谷 安明 様、西川 日出和 様、沼 雅一 様、水野 清二 様、山崎 まゆみ 様
- 5,000円以上 後藤 孝也 様、高橋 博子 様、土居 春美 様、松本 洋一郎 様、丸山 大輔 様
- 非公表 浅川 郁子 様、伊藤 利之 様、稲垣 謙二 様、岩田 正和 様、大西 勇人 様、加藤 錠治 様、川口 様、郡 健二郎 様、小松 節子 様、小松 弘和 様、佐合 広利 様、佐藤 健一郎 様、澤本 和延 様、柴原 正子 様、谷口 虹子 様、谷本 紅美 様、都築 江利 様、長尾 哲男 様、中島 亮一 様、西 康子 様、西田 豊一 様、服部 光治 様、林 清宗 様、牧田 里佳 様、真下 恭史 様、三澤 哲也 様、水野 勤 様、水野 力 様、三宅 勝 様、山崎 小百合 様、山田 勝彦 様、吉田 和生 様、脇田 恵美子 様

■団体

- 100,000円以上 桜々会(昭和33年卒) 様
- 非公表 医療法人正育会 春木レディースクリニック 様、株式会社シーテック 様、瑞山会2019ホームカミングパーティー出席者一同 様、トヨタ自動車株式会社 様、リンナイ株式会社 取締役社長 内藤 弘康 様

感謝状贈呈式が行われました

開学70周年記念事業に対して、高額の寄附をいただきました。そのご厚意に対し、郡理事長から感謝状が贈呈されました。



有限会社むらまつ 代表取締役
村松 敬介 様



長屋 祥子 様

寄附顕彰

大学振興基金へのご寄附ありがとうございました。

大学振興基金

■個人

- 100,000円以上 吉俣 隆行 様
- 50,000円以上 竜田 英行 様
- 10,000円以上 古賀 剛 様
- 非公表 赤松 繁 様、白杵 政治 様、宇野 美奈子 様、風間 裕子 様、金子 稔 様、川瀬 有美 様、酒井 雅人 様、野村 真一 様、服部 真紀 様、森 正博 様、山田 成寿 様

■団体

- 非公表 トレイルヘッド株式会社 様

※五十音順。2019年10月1日から12月31日までに寄附をいただき、公表に同意された方。※インターネットからお申込みいただいた方につきましては、クレジットカード会社または決済代行会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。※古本募金により寄附をいただいた方につきましては、提携会社から本学へ入金された日が上記期間に該当する方。

イベント参加者募集!

名古屋市立大学が主催するさまざまなイベントの情報をお届けします。ぜひご参加ください。

■内容・場所・申込方法等の詳細は、ウェブサイトをご覧ください。

「第2回愛知県で生活する外国人の保健医療アクセスを考える」フォーラム

開催日	内容	時間・場所・費用など	申込方法
3.14 SAT	名古屋市立大学特別研究奨励費(地域貢献型共同研究等推進事業)などによる調査結果をご報告し、当事者や支援に関わる方々とともに対策を考えます。	9:30~11:30 名古屋国際センター第2研修室 対象:日本で生活する外国人の健康問題に関心のある方 費用:無料 定員:65人	申込は不要です。お問い合わせは以下にお願いします。 TEL:052-853-8032 Email:ncugch-adm@umin.ac.jp 詳しくは看護学研究科国際保健看護学サイトで順次公開します。 https://www.facebook.com/ncu.gch/

授業公開

開催日	内容	場所	対象・費用	申込方法
4.14 TUE - 7.31 FRI	①経済学部 1科目 ②人文社会学部 3科目 ③芸術工学部 1科目	滝子(山の畑)キャンパス 北千種キャンパス	対象:原則として名古屋市内在住または在勤の満20歳以上の社会人で、開講期間中、継続して受講可能な方 費用:1科目につき3,000円	詳しい日程・申込方法は本学ウェブサイト授業公開のページをご覧ください。 https://www.nagoya-cu.ac.jp/science/contribution/event/cat03.html 申込締切:3月6日(金)

医療・保健 学びなおし講座 春期

開催日	内容	時間・場所・費用など	申込方法
4.7 TUE - 7.29 WED	開講テーマ 「感染症診療・感染対策 Up to date」 「痛みの診療最前線」 「カラダとココロの両面からのアプローチ」 「老年医学/認知症/地域医療」	18:30~20:00 桜山(川澄)キャンパス医学部研究棟 11階講義室 費用:1講座14,800円 定員:各60名程度	所定の申込用紙を下記のサイトよりダウンロードし記入の上、メールまたは郵送にてお申込みください。 http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/manabi/ メール:manabi@med.nagoya-cu.ac.jp 申込期限:3月30日(月)

サイエンスカフェ in 名古屋

開催日	内容	時間・場所・費用など	申込方法
4.17 FRI	第151回 「第35回国際生物学賞から考える:生物の共生系の魅力」 講師:システム自然科学研究科 准教授 村瀬 香	18:00~20:00 中区栄 ナディアパーク内 デザインセンタービル7階 7th cafe(セブンスカフェ) 費用:600円 (飲み物+お菓子) 定員:各回先着30人	お名前・ご住所・ご希望の回(開催日)をご記入の上、お申し込みください。 メール:scicafe@nsc.nagoya-cu.ac.jp TEL:052-872-3461 FAX:052-872-1531 ※開催日の1カ月前から、次回開催分の受付を開始いたします。 詳しくはサイエンスカフェ in 名古屋のウェブサイトをご覧ください。 https://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/scicafe/index.html
5.15 FRI	第152回 「それは科学ですか、それは正しい統計でしょうか」 講師:システム自然科学研究科 准教授 片山 詔久		

卒業式 3.25 WED 10:00~ 会場:名古屋国際会議場 センチュリーホール

入学式 4.6 MON 10:00~ 会場:名古屋国際会議場 センチュリーホール

※開始時刻は変更することがあります。



教員著書・発行物紹介

「ナースィング・グラフィカEX 疾患と看護(3) 消化器」

編集:看護学研究科 教授 明石 恵子 他

著者:看護学研究科 准教授

中神 克之、益田 美津美、

縦野 香苗、原沢 優子

他との共著

出版:2020年1月 メディカ出版



「芸術工学への挑戦 ~人の心と体に挑む環境デザイン」

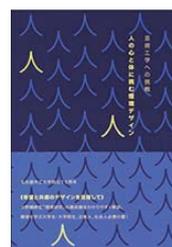
監修:芸術工学研究科 教授 原田 昌幸

編集:芸術工学研究科

水野 みか子、鈴木 賢一、

溝口 正人、原田 昌幸

出版:2019年10月 岐阜新聞社



募集中!

広報誌「創新」のご意見・ご感想を
ぜひ事務局企画広報課までお寄せください!
E-mail:ncu_public@sec.nagoya-cu.ac.jp

本学教職員の 皆さんへ

広報誌「創新」に掲載したい情報はE-mailで、
広報に関する報告・相談は教職員限定サイト「広報ホットライン」
をご活用ください。